

みやぎ憲法九条の会 第2回「憲法塾」

# ラジオ放送開始 100年 ～権力とマスコミ

マスコミの本質的役割や権力との  
関係、今後の課題等を考える！

1925年3月22日、日本で初めての  
ラジオ放送（NHK）が開始され、日本の放送の歴史が  
始まった。来年はそれから100年目の年となる。

また、テレビは1953年2月1日より本放送（NHK）が開始された。  
放送は長らくNHKに独占されていたが、第二次世界大戦後に民間に開放された。  
1951年4月21日には日本初の民間放送としてラジオ16社が予備免許を受け、1953年  
にはNHKに続いて、日本テレビ放送網が民放初のテレビ局として開局した。

ラジオ、テレビ及び新聞各紙を含めた「マスコミ」は、歴史的にみれば政府や軍、あ  
るいはGHQによる様々な統制を受け、「権力の監視機能」として果たした役割の歴史は長  
いものではない。

さらに、昨今の状況を見ると、政府・与党等による報道への介入が露骨さを増し、マ  
スコミ側もそれを「受け入れ」あるいは、付随的な報道も多々みられるような状況とな  
り「権力の監視機能」としてのマスコミの存在が改めて問われるような事態も出てきて  
いる。

そのような状況の中、マスコミの本質的役割や権力との関係、今後の課題等をマスコミ  
問題に詳しい相原世話人が問題提起する。

と き 2024年7月27日（土）13：30～14：30

ところ フォレスト仙台5階 501会議室

講師 相原 研一 みやぎ憲法九条の会世話人

（マスコミを考える市民の会仙台）

主催／みやぎ憲法九条の会

連絡先：022-728-8812

メールアドレス：info@9jou.jp

ホームページ：https://miyagi9jou.sakura.ne.jp/